

新型コロナウイルス感染症対策のための追加資料

令和2年11月4日

全日本合唱連盟より提示されている、「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」を原則とし、感染防止に十分に注意を払い開催する。

- 1, 今年度、アンサンブルコンテストを実施するため、
「無観客開催とする」
「密になることを避け感染拡大防止のための様々な制約を設ける」
以上のことをベースに大会を運営していく。

2, 具体的対応として

【全体的な周知事項】

- ① 無観客開催とする。
- ② 開会式、閉会式、表彰式は実施しない。
- ③ 審査結果は県合唱連盟 HP で発表する。賞状、講評は後日送付する。
- ④ マスクを着用する。
- ⑤ 演奏終了後、1 団体ごとに換気・清拭の時間（約 5 分）をとる。
- ⑥ 体調不良（発熱等）者の出演・来場禁止とする。

（以下、全日本合唱連盟より提示されたガイドラインより）

体調の管理

大会前 1 週間における以下の事項の有無を確認し、該当する事項のある場合は、出演を停止すること。

- a) 平熱を超える発熱があった。
- b) 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状があった。
- c) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった。
- d) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいた。
- e) 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触があった。

- ⑦ 客席に入場できるのは、「審査員」「会場係」のみとする。
なお、各団体 1 名まで、事前に所定の手続きを取った上で、自分の団体の録音・録画を許可された者は認める。
- ⑧ 受付を簡素化し、出演者の確認のみとする。
- ⑨ 演奏はアカペラのみとする。伴奏用ピアノは設置しない。
- ⑩ ステージには音取り用キーボードは設置しない。各団体でピッチパイプ、キーボードなど用意する。リハーサル室にもキーボードは設置しない。
- ⑪ 非接触アプリ (COCOA) 等を活用する。

【出演者】

- ① 1週間前からの検温等、体調管理。
- ② **参加者名簿**（出演者の名前、当日の体温、責任者の確実な連絡先住所・電話番号）
- ③ **音取り用の楽器**（小型キーボードやピッチパイプ、音叉など）を各団で用意。
- ④ 参加費は、当日の出演者の人数を確認した上で、後日請求し、振込みによる支払いとする。
- ⑤ 出演者の導線に沿ったマニュアルにしたがうこと。

- 1 タイムテーブル 5分前に会場入口に集合し荷物を所定の場所に置く。
貴重品はまとめてホワイエ内のロッカー。
予定の時間より早く着いた場合、十分に距離が取れる場所で待機。ホール内には入れない。
会場周辺での発声など、声を出さず練習は禁止。
- 2 代表者（責任者）は、**参加者名簿**に必要事項が記されていることを確認し、係員に渡す。
必要な荷物（音取り用キーボードなど）を持って入場。
- 3 入場後の流れは、
待機1 → リハーサル → 待機2 → 舞台袖待機 → 演奏 → 退場 → 会場外へ
終了後、会場入口で各自の荷物を持ち、そのまま帰路につく。
- 4 ステージはある程度スペースはあるが8名を超える場合、必ず2列以上の配置を取る。
ステージには目印を付けてある。左右1m以上、前後2m以上。
- 5 受付後、会場外に出るまで、**マスクを着用し極力私語はしない**。ホールの扉を開放しているため十分気をつけること。演奏時のみマスクをはずすことを認める。
- 6 リハーサル室でもマスク着用。 マウスシールド、フェイスシールドは不可。
リハーサル室の立ち位置、歌う向きは固定。
また、こまめに手洗い消毒をすること。
リハーサル後、**出演者は係員の指示に従いリハ室の清拭を行う。**
- 7 本番前の袖待機や廊下待機など、出演チームごと、出演者ごとの距離を十分に保つ。
- 8 更衣場所は用意しない。（着替えが必要なら会場に来る前に）
- 9 会場で食事はできない。

【運営者】（役員・理事・係員）

特別に用意するもの

「体温計」「消毒用アルコール」「除菌用スプレー」「サーキュレーター」「床拭きモップ」

- ① 入場時、必要な場合、検温する。
- ② 待機場所などに消毒薬を設置する（リハ室外）。
- ③ ステージおよびリハーサル室の5分間換気および清拭する（1団体ごと）。
- ④ 弁当は用意しない（原則、午前・午後いずれかの係とする）。